

碧南市次世代育成支援地域行動計画（へきなん次世代ハートプラン）の実施状況を公表します

市では、少子化対策の推進をより一層図るため、碧南市次世代育成支援地域行動計画（平成17～21年度）を平成17年3月に策定し、「心を包み 心を育むまち へきなん」の基本理念を実現するため、4つの基本目標の柱を基本に、112項目に及ぶ施策・事業を掲げて具体的な取組みを進めています。

● 平成17年度における施策・事業の取組状況

基本目標	進捗状況	件数	割合 (%)
健やかっこ ・子どもと母親をはじめとした市民全体の健康づくり ・人らしさと人が尊重される社会の形成	完了・実施中	25	66
	見直し中	8	21
	計画策定中	3	8
	未着手	2	5
	計	38	100
育ちっこ ・保育サービスの充実 ・家庭での子どもの健やかな育ち	完了・実施中	6	32
	見直し中	6	32
	計画策定中	4	20
	未着手	3	16
	計	19	100
輝きっこ ・教育・学習の場を充実させて健全育成の促進 ・親と地域で子どもを育てる	完了・実施中	13	69
	見直し中	4	21
	計画策定中	1	5
	未着手	1	5
	計	19	100
やすらぎっこ ・ハートのある地域づくり ・未来へつなぐ子育て、親育ち支援	完了・実施中	24	67
	見直し中	5	14
	計画策定中	3	8
	未着手	4	11
	計	36	100
全体	完了・実施中	68	61
	見直し中	23	20
	計画策定中	11	10
	未着手	10	9
	計	112	100

● 平成17年度に取り組んだ主な内容

☆ 健やかっこ

(1) 新生児・乳幼児訪問

母子保健推進員による「赤ちゃんお誕生おめでとう訪問」を実施し、育児不安者の早期発見に努めた。

(2) 子どもの事故防止等の啓発

チャイルドシート着用の徹底を図るため、幼稚園・保育園で着用の実践講座を開催した。

(3) 食育推進事業

子どもの栄養改善や食を通じた心の健全育成を目的に、保健センター母子保健事業で、保護者対象の教室を開催した。

(4) 小中学校への食生活学習

学級指導や家庭科の授業、保健の授業や総合的な学習の時間の中で、食育指導に取り組むとともに、家庭地域等にも知識の普及啓発を行った。

(5) 児童虐待等への対応体制と連携の再構築と機能化

児童虐待の発生予防、早期発見・対応のため、要保護児童対策協議会を設置し、関係機関の実務者会議を月1回開催するとともに、小中学校教職員、幼稚園教諭、保育園保育士等を対象に児童虐待の研修会を開催した。

☆ 育ちっこ

(1) 低年齢児保育

3歳未満児の保育ニーズの動向を踏まえて、平成18年4月から天道保育園で2歳児の受入れを決定した。

(2) 延長保育

就労形態の多様化等に伴う保育ニーズに対応するため、平成18年4月から天道保育園で18時までの保育時間の延長を決定した。

(3) 第三者評価の実施

保育サービスの質的向上を図るため、羽久手保育園、鷺塚保育園の2園で第三者評価を実施した。

(4) 男女共同参画社会の形成に向けた啓発

子育てのあり方について、タケカワユキヒデ氏を講師に迎え、男女共同参画

フォーラムを開催した。

☆ 輝きっこ

(1) 公園の新設

「碧南市緑の基本計画」に基づき、権田公園を整備完了した。また、若松公園の整備に着手した。

(2) 遊具の保守・管理

公園施設始め 8 2 施設の遊具の定期保守点検及び非破壊安全検査を実施した。また、善明町ちびっこ広場を新たに整備した。

(3) 預かり保育の充実

幼稚園での子育て支援事業の一環として、平成 1 8 年 4 月から公立幼稚園で午後 4 時までの預かり保育の実施を決定した。

☆ やすらぎっこ

(1) 児童生徒の安全対策の確保

児童生徒の登下校時の安全確保のため、「子ども 1 1 0 番」ののぼり旗 5 8 0 本を各所に設置するとともに、青色回転灯パトロール車による下校時の巡視を行い、安全対策を講じた。

(2) 子育て応援マップ（情報誌）作成事業

子育てに必要な情報を収集して、情報誌を作成。子育て中の保護者への活用を図る。

● 平成 1 8 年度実施予定の新規子育て支援事業

(1) 不妊治療等の相談と情報提供（予算額 1, 200 千円）

市単独の不妊検査及び不妊治療費の一部助成を行う。

(2) 産後うつの支援（予算額 112 千円）

産後うつの早期発見と支援のため、産後うつアンケートを実施するとともに、必要に応じたカウンセリングを実施する。

(3) 乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）（予算額 2, 780 千円）

在園中の児童などが、病気の回復期において、集団での保育を行うことが困難で、かつ、保護者が勤務等の都合で家庭での育児を行うことが困難な場合に、一時的に利用可能な保育サービスで、天道保育園内で実施する。

(4) 保育園の整備（予算額 151,875 千円）

園児の安全確保及び快適な保育環境を整備するとともに、園舎の耐震化対策に備える目的で、民間保育園 2 園の改築のための建設補助を行う。

(5) ひとり親家庭生活支援事業（予算額 130 千円）

ひとり親家庭の情報交換事業を開催し、早期自立のための意欲形成を図る。

(6) 子育て応援組織の整備（予算額 335 千円）

仕事を持つ保護者の福祉の増進及び児童の健全な育成の向上を目的に、ファミリー・サポート・センター事業を行う。

※ファミリー・サポート・センター事業とは、「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育ての協力をしてくれる人（援助会員）」がお互いに助け合う会員組織をつくり、保育園・幼稚園等への送迎及び保育開始前または終了後の預かり、学校の放課後等の児童の預かり、軽い病児の預かりなど、援助会員が子育ての一時的・補助的な手助けを行う事業である。

● まとめ

へきなん次世代ハートプランは 10 年間で推進するプランです。平成 17 年度を初年度とし、平成 21 年度までの 5 年間で前期計画期間として設定し、平成 21 年度に前期計画の進捗状況を踏まえて必要な見直しを行い、平成 22 年度から後期計画を作成して推進していきます。

問合せ 児童課児童係 内線 337